

無料プレゼント

GLOBAL KIDS | BEFORE YOU START

おうち英語、 はじめる前の4つの話

なぜ英語？ どこにお金と時間をかける？ どうして続かない？

01

英語は何のため？

02

お金と時間を、どこにかける？

03

どうして私たちは英語が話せない
の？

04

続かないのは、三日坊主のせい？

もくじ

00

はじめに

この冊子について

01

英語は何のため？

「人生を豊かにする道具」としての英語

02

お金と時間を、どこにかける？

習い事・教材・おうち時間を比べてみる

03

どうして私たちは英語が話せないの？

あなたのせいじゃない、3つの理由

04

続かないのは、三日坊主のせい？

小さな一歩をつみ重ねるマインドセット



おわりに

明日の朝から使える英語は、こちら

はじめに

はじめまして。グローバルキッズ養成塾のKaoriです。オーストラリアのシドニーで、夫と二人の息子と暮らしています。

新潟の田舎で育った私が英語と出会ったのは、小学2年生のとき。4つ上の姉のまねをして、ラジオ英会話を聞き始めました。高いおうち教材も英会話教室もなく、あったのは月300円ほどのテキストと、1日15分のラジオだけ。それを高校3年生まで、10年ほど続けました。当時の私にとって英語は、外の世界と自分をつないでくれる「どこでもドア」のような存在だったのだと思います。

高校でアメリカ、大学でイギリスのブリストル大学に留学し、バックパッカーとしてあちこちを旅しました。東京で営業の仕事をしていたころに夫と出会い、国際結婚。ポルトガル、メルボルン、シンガポール、シドニーと移り住み、十数か国を旅して暮らしてきました。

たくさんの国の友人、同僚、ママ友と出会い、10代の私には想像もできなかったほど、ものの見方が広がりました。反対に、文化の違いから人間関係でつまずいたり、海外での仕事探しで失敗したり、国際結婚ならではの苦労もたくさんしてきました。

そんな経験から、英語と、英語の先にある「世界とつながる視点」を日本の親子に届けたくて、2012年にグローバルキッズ養成塾を始めました。

この冊子は、以前LINEの講座でお届けしていた動画「おうち英語成功の7ステップ」と、ブログで長く読んでいただいていた記事をひとつにまとめ直したものです。フレーズや遊び方の前に、「そもそも、なぜ？」を一緒に考える4つのお話。コーヒーでも飲みながら、気楽に読んでもらえたらうれしいです。

01

英語は何のため？

「人生を豊かにする道具」としての英語



VIDEO

動画で見る：第1章 英語が大事な理由がいますぐわかる

スマホのカメラでQRコードを読み取ると、YouTubeで再生できます。

毎日の家事と育児で手いっぱいの中、それでも「子どもに英語を」と思ったのはなぜでしょう。

日本で生まれて日本で育つなら、英語が話せなくても暮らしていけます。買い物でも遊びでも仕事でも、英語を使う場面はほとんどありません。それでも心のどこかで「英語を」と思ったのには、きっと理由があるはずです。

- 英語が話せるとカッコいいから
- 世の中で「英語が大事」と言われているから
- 自分が英語で苦労したから、子どもには同じ思いをさせたくないから
- 小学校で英語が始まるから
- 英語ができた方が、給料が良さそうだから

どれも間違いではありません。ただ、おうち英語は短距離走ではなく長い長い道のり。「なぜ英語なのか」を親がはっきり持っているかどうかで、続けられるかどうかが大きく変わります。すぐに答えが見つからなくても大丈夫。この章を読みながら、わが家の「なぜ」を探してみてください。

● 私たちは「なぜ英語を学ぶのか」を教わってこなかった

中学・高校で6年、大学も入れればそれ以上、英語を勉強してきたはずなのに、外国の人を前にすると「アイム ファイン、センキュー」すら緊張して出てこない。私も高校時代、毎週月曜の単語テストのために、語呂合わせで必死に単語を覚えていました。でも試験が終わったら、ほとんど忘れてしまった。

思えば私たちは、「英語を学ぶ理由」を学校で教わってきませんでした。日本にいれば、英語がなくて困る場面にはそうそう出会いません。だからこそ、親が子どもに「英語を学ぶ意味」を見せてあげ

ることが大切なんだと思います。

● 英語と「夢」がつながると、やる気生まれる

パイロットになりたい。宇宙飛行士になりたい。サッカーのプロになりたい。子どもがそんな夢を見つけたとき、英語が夢にどう結びつき、どう背中を押してくれるのか。そこが見えると、英語は「やらされる勉強」から「夢を叶える道具」に変わります。

ただ、0～6歳の小さな子どもに毎日何かを続けさせるには、親の力が欠かせません。だからまずは、親の側の「なぜ」がしっかりしていることが大切なんです。

● 寂れた商店街で見た、小さなおもちゃ屋さん

数年前、日本に里帰りしたとき、子どもころにぎわっていた地元の商店街が、8割ほど店じまいしているのを見て、とても寂しくなりました。靴屋さんも呉服屋さんもお茶屋さん、見覚えのあるお店はほとんど閉まっていました。

そんな中、私が子どもころからあるおもちゃ屋さんが、今も営業していたんです。息子たちを連れて入ってみると、店長さんの指示で、若いスタッフがパソコンに向かって黙々と作業をしていました。どうやらネットオークションやオンラインショップに、商品を登録しているようでした。

30年ほこりをかぶっていた、もう作られていないプラモデル。それがあの日、インターネットを通じて、海の向こうのコレクターに高値で売れるかもしれない。6,000km離れた相手と、欲しい人と売りたい人が出会える。「ネット」と「英語」という道具を持つと、可能性は本当に無限大に広がります。

その可能性を想像したときのワクワク。それこそが、新しい道具を身につける醍醐味なんだと思います。そのワクワクを、ぜひお子さんと一緒に感じてほしいんです。

● 英語ができると、何が変わる？

約15億人

英語を話す人の数（母語＋第二言語）

約1.3億人

日本語を話す人の数（世界13位）

10倍以上

英語が話せると、交流できる人の数

出典：Ethnologue（2026年）

世界でいちばん多くの人に話されている言語は英語です。日本語しか話せない場合と比べて、10倍以上の人と言葉を交わせるようになります。旅先で困らないだけでなく、友だち、仕事仲間、将来のパートナーまで、出会う相手が日本人に限られなくなるんです。

情報の量も大きく変わります。同じことをインターネットで調べても、日本語と英語では出てくる情報の量がけた違い。私は仕事でも暮らしでも、日本語と英語の両方で調べて比べるのが日課ですが、日本語だけだと情報が偏ったり、遅れたりしていると感じることがよくあります。

もちろん、仕事やお金の面でも英語は力になります。2013年にハーバード・ビジネス・レビューで紹介された調査では、国の英語力と国民一人あたりの所得のあいだに、強い相関があると報告されました。ただ、私がいちばん伝えたいのはそこではありません。

● 「交換価値」から「人生を豊かにする力」へ

英語を頑張ると、いい学校、いい就職、いいお給料が手に入る。こうした見方は「交換価値」と呼ばれ、長く日本人の英語学習の原動力になってきました。でも、交換価値のために何年も頑張ってきた結果が、「読めるけれど話せない」私たちの英語です。

福岡県立大学の水野邦太郎先生は、論文『学校で「英語」を学ぶことの意味』の中で、英語を学ぶ目的として、英語を通して日本語の外に出てみることに、英語を鏡にして日本語を映し出すこと、そして日本語で生きることを意味を考えることを挙げています。何度も読み返した、大好きな論文です。

外国語を知るのは、世界を見る「もうひとつのレンズ」を手に入れること。ものの見方が広がり、自分とは違う人と心を通わせられるようになる。私は、英語は「人生をより豊かにするための道具」だと思っています。

● 目標は大事。でも、目的を見失わないで

「小学校のうちに英検〇級」のような目標は、あっていいと思います。むしろ、短い目標があるとメリハリがついて続けやすくなります。ただ、英検のための英語、英語のための英語になってしまうと、本末転倒。英語は手段であって、目的ではありません。そこだけは、ぶれずにいたいと思っています。

わが家の「なぜ英語？」を書いてみよう

- ☐ 子どもに英語を身につけてほしいのは、なぜ？
- ☐ 英語ができたら、子どもにどんな未来が広がりそう？
- ☐ 私自身は、英語でどんなことをしてみたい？

02

お金と時間を、どこにける？

習い事・教材・うち時間を比べてみる



VIDEO

動画で見る：第2章 英語とお金 | 子供のうちに英語を始めると良い理由

スマホのカメラでQRコードを読み取ると、YouTubeで再生できます。

「これからは英語が必須」という言葉があふれる中で、長い目で見て、どこにお金と時間をかけるか。一度、冷静に考えてみませんか。

● 子どもたちが大人になるころの日本

少子高齢化が進み、国内の働き手だけでは足りなくなると言われています。今の子どもたちが大人になるころには、外国から来た人と一緒に働いたり、外国の人からサービスを受けたりするのが、もっと当たり前になっているでしょう。海外に住まなくても、日本にしながら英語が飛び交う時代は、すぐそこまで来ています。

● 教育費は、思っているよりずっと大きい

約614万円

幼稚園から高校まで、すべて公立

約838万円

幼稚園と高校が私立

約1,969万円

幼稚園から高校まで、すべて私立

出典：文部科学省「令和5年度 子供の学習費調査」（15年間の学習費総額）

ここに大学の費用が加わります。子どもが大人になるまでの長い道のりを考えると、習い事や教材にけるお金は、「投資」として考える視点が大切です。どこに投資すると、いちばん大きなリターンがあるのか。周りに流されず、わが家なりに選びたいところです。

● 英会話教室の場合

幼児向けの英会話教室は、週1回30～60分で、月謝はだいたい6,000～9,000円くらいが多いようです。2歳から小学校入学まで5年間通うと、36万～54万円ほど。プライベートレッスンなら、その何倍にもなります。

先生にお任せできるのは大きな魅力です。ただ、週に1回30分だと、英語に触れる時間は1か月でたった2時間ほど。「何年も通っているのに、全然話さない」という声をよく聞くのは、ある意味当然なのかもしれません。

● 教材を選ぶときの5つのものさし

幼児向けの英語教材は、数千円のものから数十万円のものまで本当にさまざま。値段が高いから必ず話せるようになる、というものではありません。選ぶときは、次の5つを確かめるのがおすすめです。

- **価格とコストパフォーマンス**：何年使えて、1年あたりいくらになる？
- **子どもが楽しいと感じるか**：キャラクターや内容を好きになれそう？
- **長く続けられるか**：親子の負担が大きすぎない？
- **購入後のフォロー**：困ったときに相談できる？
- **親のあなたが好きかどうか**：実はこれがいちばん大事かもしれません

無料の資料請求や体験のあとは、営業の電話が来ることもあります。その場の勢いで決めず、ご家族でゆっくり話し合ってから大丈夫です。高い教材を見送って、そのお金を家族の海外旅行や親子留学の資金にする、という選び方もあります。

● 始めるなら、早いほどいい理由

小さな子どもは、聞く力、まねする力、吸収する力がとても強く、遊びや歌を通して自然に言葉を身につけていきます。「子どもは語学の天才」と言われるのはそのためです。

よく例に出されるのが、日本人が苦手な「L」と「R」の聞き分けです。言語学者のパトリシア・クール博士の研究では、赤ちゃんは生後半年ごろまでは世界中の言葉の音を聞き分けられるのに、1歳に近づくにつれて、ふだん耳にする言葉の音に合わせて聞き分けが変わっていくことがわかっています。そして、その時期に外国語の音を聞かせるなら、画面越しではなく、生身の人とのやりとりが大切だということも。

もちろん、小学生からでは遅いというわけではありません。大人になってからでも英語は学べます。ただ、もし選べるなら、始めるのは早ければ早いほうがいい、とは言えそうです。

● 私のおすすめは、親子の「クオリティタイム」に英語を

幼児期は、スキンシップや遊び、会話を通して、親の愛情をたっぷり感じてほしい大切な時期。だから私がおすすめしたいのは、親子で過ごす時間に、少しだけ英語を混ぜることです。お金もあまりかからず、子どもの人間力と英語力の土台づくりが同時にできます。

- **はみがき・お風呂・お着替え**：暮らしの中の英語で、自分でできる力を育てる

- **英語の歌やダンス**：英語のシャワーを浴びながら、表現する力を育てる
- **英語の絵本**：語彙、想像力、思いやり、知りたい気持ちを育てる
- **英語のアニメを一緒に見る**：質問する力、異文化への好奇心を育てる
- **できたことを英語でほめる**：自分を好きになる力を育てる

ひとつひとつは5分ほどの、小さなことで十分です。でも、それを毎日の暮らしの中で何度もくり返すうちに、英語の下地が少しずつできあがっていきます。

Why is it so hard?

03

どうして私たちは英語が話せないの？

あなたのせいじゃない、3つの理由



VIDEO

動画で見る：第3章 英語が話せるようにならない理由 | 日本の英語教育

スマホのカメラでQRコードを読み取ると、YouTubeで再生できます。

時間もお金もかけたのに、英語が話せない。もしそう感じているなら、まず知ってほしいのは「それはあなたのせいではない」ということです。

● 理由1 学校の英語は「話すため」の教え方ではなかった

私たち親世代が中学・高校で受けてきた英語の授業は、「文法訳読法」と呼ばれる教え方に近いものでした。文法を重視して、英語を日本語に訳しながら読み解いていく方法です。

もともとは、ヨーロッパで、話し手のいないラテン語や古代ギリシャ語の本を読むために使われていた教え方。大人数のクラスでも授業ができて、先生が英語を流ちょうに話せなくても成り立つ、という良さもあります。一方で、話す・聞くことはどうしても後回しになります。

英語を日本語に訳す、日本語を英語に訳す。それは何度もやってきたけれど、実際には話せない。そんな心当たりがあるなら、理由のひとつはここに 있습니다。

● 日本の英語力は、世界でどのくらい？

96位

日本（英語を母語としない123か国・地域中）

17位

アジア25か国・地域の中での日本

1位

オランダ

出典：EF英語能力指数（EF EPI）2025年版

アジアの中でも、マレーシア（24位）、フィリピン（28位）、韓国（48位）、ベトナム（64位）、中国（86位）より下の順位です。2011年の初回調査では14位でしたが、参加国が増えるなかで、年々順位を下げています。少し悲しくなりますね。

● 理由2 日本語と英語は、まったく違う言葉

日本語は、ひらがな・カタカナ・漢字の3種類の文字を使います。英語はアルファベット26文字。語順も、日本語は「私は・りんごを・食べる」、英語は「I eat an apple」と、根本から違います。フランス語やイタリア語、ポルトガル語は英語と同じ語順の仲間ですが、日本語は世界の大きな言語のグループのどこにも属さない、とても独特な言葉なんです。

アメリカ国務省の外交官養成機関（FSI）は、英語を話す人がほかの言葉を仕事で使えるレベルになるまでの学習時間の目安を出しています。

約600～750時間

フランス語・イタリア語・スペイン語など

約900時間

ドイツ語・インドネシア語など

約2,200時間

日本語・韓国語・中国語など（超難関）

出典：米国務省 Foreign Service Institute の言語難易度区分

世界で活躍するエリートにとってさえ、日本語は「超難関」。ということは、日本語を話す私たちにとっても、英語はそれだけ遠い言葉だということです。一方で、学校の授業で英語に触れる時間は、小学校から大学まで合わせても、1,000時間に届かないと言われています。しかもそれは「話すため」の時間ではありませんでした。

● 理由3 日本では、英語がなくても暮らせた

ニュースもドラマも映画も、ネットの情報も、ほとんど日本語で手に入る。周りに外国の人もいない。国内だけで経済が回る。これまでの日本は、英語がなくても困らない国でした。

でも、それは「これまでは」の話です。世界はどんどん近くなり、変化のスピードも速くなっています。これから求められるのは、英語が使えることに加えて、自分と違う文化や考え方を理解しようとする力、世界のどこにいても人と信頼関係を築ける力だと、私は思っています。

この章のまとめ

- ☐ 学校の教え方が「話すため」ではなかった
- ☐ 日本語と英語はまったく違う言葉で、そもそも時間が足りなかった
- ☐ 日本では英語がなくても暮らせた。でも、これからは違う
- ☐ だから、話せなくて当たり前。自分を責めなくて大丈夫

04

続かないのは、三日坊主のせい？

小さな一歩をつみ重ねるマインドセット



VIDEO

動画で見る：第4章 日本語と英語を徹底比較 | 続けるためのマインドセット

スマホのカメラでQRコードを読み取ると、YouTubeで再生できます。

何を隠そう、私は筋金入りの三日坊主です。だからこそ、続けるための工夫をたくさん考えてきました。

● おうち英語は、長い道のお散歩

語学を身につけるのは、一気に走り抜ける短距離走ではなく、長い道のりを歩いていくようなもの。行き先がわからないまま歩き続けるのは、誰にとってもつらいことです。高い教材を買ったのに続かなかった、というご家庭の中には、目的地がはっきりしないまま歩き出してしまったケースも多いのではないかと思います。

だから私は、がむしゃらに走るのではなく、景色を楽しみながらお散歩するようなイメージをおすすめしています。ときには空を見上げたり、雲の流れを眺めたり。立ち止まったときは、遠くの見えないゴールにため息をつくのではなく、振り返ってここまで歩いてきた道を眺めて、子どもと自分をたっぷりほめてあげてください。

● 「必要」と感じられないことは、続かない

たとえばダイエット。「明日から」と言い続けて何年も経つ人でも、健康診断で深刻な結果が出たら、きっとその日から生活を変えるはずです。人は、本当に必要だと感じたことなら動けるんです。

でも日本にいと、英語が本当に必要だと感じる場面はなかなかありません。親が実感できないことを子どもに続けさせるのは、とても難しいこと。だからこそ、第1章でお話しした「わが家のなぜ」が、いざというときの支えになります。

そしてもうひとつ。必要だと強く感じられなくても、人が苦勞せず続けられることがあります。それは「すごく楽しいこと」「面白いこと」「かんたんなこと」。おうち英語は、ここを味方につけるのがいちばんの近道です。

● ゴールは「今日の5分」でいい

まだ小さい子どもに「小学4年生で英検3級」のような遠いゴールを掲げると、先が長すぎて、親の方がやる気をなくしてしまいます。まずは今日1日、この1週間、この1か月。短い目標で十分です。

毎日することは、「え、これだけでいいの？」と思うくらい小さくて大丈夫。車に乗っている時間、お風呂の十数分、夕ごはんの20分。机に向かわなくても、かくれんぼやおままごとの中にちょっと英語を混ぜるだけでも立派なおうち英語です。5分が自然に続くようになったら、少しずつ時間を延ばしていけばいい。小さな成功体験と、小さな自信の積み重ねです。

● 新聞紙を半分に折り続けたら

厚さ0.1ミリの新聞紙を、半分に折る。もう一度、半分に折る。これを37回くり返すと、厚さはどのくらいになるとおもいますか？

37回

約1万3,700km（地球の直径を超える）

42回

約44万km（月に届く）

実際には、紙は10回も折れません。あくまで計算上のお話です。でも「37回なら、私にもできそう」と思った、その感覚が大事なんです。とてもかんたんなことを、ただくり返す。それが、想像もできないほど遠くまで連れて行ってくれることがあります。

“小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道”

— イチロー —

おうち英語も同じです。遠くて大きく見えるゴールも、実は小さな一日の積み重ねの先にあります。それがわかっていれば、今日の5分を、肩の力を抜いて楽しめるはずです。

続けるための5つのヒント

- ☐ わが家の「なぜ英語？」を紙に書いて、見えるところに
- ☐ ゴールは短く。まずは1週間
- ☐ 毎日の場面を1つ決めて、1日5分だけ
- ☐ 楽しいこと・かんたんなことを味方に
- ☐ できた日は、子どもも自分もたくさんほめる

おわりに

最後まで読んでくださって、ありがとうございます。

なぜ英語なのか。どこにお金と時間をかけるのか。どうして話せなかったのか。どうしたら続くのか。4つのお話が、あなたのおうち英語の小さな道しるべになったらうれしいです。

「じゃあ、明日の朝、何て話しかけたらいいの？」と思ったら、ここから先は『おうち英語 まるごとフレーズ大全』の出番です。朝のしたくからおやすみまで、あそび・お手伝い・学びの場面も含めて、そのまま口に出せる英語を1冊にまとめました。

ALL-IN-ONE PHRASE BOOK

おうち英語 まるごとフレーズ大全

50

場面

1,400+

フレーズ

190

ページ



くわしい内容・ご購入はこちら

globalkid.jp/phrasebook



感想やご質問は、LINEから気軽にどうぞ

グローバルキッズ養成塾 公式LINE

グローバルキッズ養成塾 Kaori